

式 辞

寒く雪が多かった今年の冬でしたが、木々の芽や花のつぼみがふくらみ、春が一步ずつ確かに近づいてきています。新たな生命の息吹がみなさんの門出をお祝いしています。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、みなさんひとりずつに、本校での教育を修了し卒業した証となる卒業証書をお渡ししました。

みなさんが四年生のまとめを迎えた頃から二年間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、日々の学校生活が一変しました。マスク、換気、手洗い、三密を避けることが、当たり前前の日常となりました。多くの学校行事も形を変えたり、取りやめを余儀なくされたりしました。みなさんもキャンプはできませんでしたが、修学旅行は旅行先を富山にして実施できました。修学旅行を実施するにあたり、保護者の皆様、訪問先や関係者の方々に支えていただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業生のみなさんと過ごした三年間を振り返ると、何事にも真摯に向き合い、お互いの違いを認め、仲間と力をあわせ、自分が持てる力を出し切ろうとする姿が思い出されます。

明るく元気なあいさつ、毎朝続けた昇降口のそうじ、授業中真剣に問題を解く姿、仲間と対話しながら課題を解決しようとする姿、掃除の時きれいになったかじっと床を見つめた目、すべてが輝いていました。

児童会活動では、自分たちの願いを達成するために、制限があるなかを工夫し、努力していました。自分たちの手で未来を切り拓いていく姿を頼もしく感じました。ご来賓として参列されるはずであった地域の方々にも、今日のみなさんの晴れの姿を見ていただきたかったです。

みなさんの旅立ちにあたり、はなむけとして一言申し上げます。

これから歩む人生、様々な場面で選択、選ぶ機会がやってきます。「人生は選択の連続である」有名な劇作家ウィリアム・シェイクスピアの言葉です。今日着る服を何するか、中学で部活に入るか、入るとしたらどこに入るか、など毎日、何度も選択するチャンスがあります。

とはいえ、選んだ結果がよかったと安心することも、しまったと後悔することもあります。後悔しても大丈夫、なぜなら、次の選択ができるからです。しまったと思ったら、状況を変えるために次の行動を選べばよいのです。つらいこともありますが、あきらめなければ、未来への道は開かれています。そして、みなさんのまわりには、同じように日々選択して喜んだり落ち込んだりしている仲間がいます。もし、近くに選択したことを後悔している人がいたら、笑顔で手を差し伸べてください。いつか、自分が後悔した時に、きっと助けてくれる人が現れます。

自分が描く未来に向かって、自分で選び続けることを楽しんでください。自分以外の人に相談しながらも、最後は自分の責任で選ぶ人生を歩んでください。

保護者のみなさま、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。コロナ禍で様々な制約があるなかでしたが、卒業生一人ひとりの知恵と優しさと努力が戸倉小学校を支え、本日を迎えることができました。それは、ひとえに保護者のみなさまが、日頃より子どもたちに愛情をそそぎ、あたたかい心で見守り育てていただいたおかげであります。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、本日まで様々な場面において、本校の教育活動にご理解とご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、名残は尽きないわけですが、お別れの時となりました。卒業生のみなさん、六年間、みなさんを支えてくださった、ご家族、地域の方々、先生方はじめ、全ての方に感謝の気持ちを忘れずに、戸倉小学校の卒業生であることに誇りをもって、中学校生活を自分たちの手で輝くものにして下さい。

みなさんの、これからの健康と活躍を願って、式辞といたします。

令和四年三月十七日

千曲市立戸倉小学校 校長 宮原明人